



人類が 私たちの仕事

2001-2002年度
国際ロータリーのテーマ

RI 会長

リチャードD・キング

第2640地区ガバナー

前田 孝道

事務所 海南市日方1294

〒642-0002 海南商工会議所内

TEL (073)483-0801

FAX (073)483-2266

例会日 毎週月曜日 12時30分

♣第1例会のみ 18時30分

於 海南商工会議所4F

会長 谷口誠也 幹事 中尾亨平

SAA 前田洋三

会報委員会 ◎吉田昌生

◎荻野昭裕

花畑重靖 大川幹二 柳瀬恵司

横出 廣 山畑弥生 寺下 卓

四つのテスト

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

ロータリーが私の友人 ロータリーが私を磨く ロータリーで私を生かす

海南東ロータリークラブ Kainan East Rotary

DISTRICT 2640 CLUB WEEKLY BULLETIN

第1264回 例会 2002年(平成14年)3月11日(月)

午後12時30分 於 海南商工会議所4F

1. 開会点鐘 谷口 誠也会長
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「我等の生業」
4. お客様のご紹介 白 雅婷(ハク ヤテイ)様
5. 出席報告 会員総数 71名 出席者数 52名
出席率 76,81% 前回修正出席率 86,96%
6. 会長スピーチ 谷口 誠也会長

本日は献血例会です。ご協力ありがとうございました。

3月のロータリーの友談話室に「生涯思い出に残る献血運動」として園部の方の献血運動の思いが載っていました。採血できる最高年齢69才まで276回献血ができた、健康に感謝しますと書かれていました。

もう歳やからやめとくわと言っていましたが、今日は献血致しました。

今日は第2回IDMの報告をお願いします。リーダーさんとはご苦労さんですが、よろしくお願い致します。

7. 幹事報告

○メーキャップ

3月4日 和歌山アゼリアRC

寺下 卓君・山畑 弥生君

3月5日 有田南RC 平尾 寧章君

3月7日 海南西RC 花田 宗弘君

○例会臨時変更のお知らせ

粉河RC 3月20日(水)→3月20日(水)

PM12:30~ 青州の里

4月3日(水)→4月3日(水)

AM8:00~ 長田観音

4月10日(水)→4月6日(土)~7日(日)

AM8:00~ 一泊家族例会 善光寺~松本城

串本RC 4月2日(火)→4月1日(月) PM6:00~

グリンピア南紀 GSE 団員歓迎会

○例会休会のお知らせ

和歌山北RC 3月18日(月)

和歌山南RC 3月22日(金)

和歌山中RC 3月22日(金)

串本RC 3月26日(火)

E-mail: rotary@kankyo.co.jp

URL: <http://www.kankyo.co.jp/rotary/kainan-east>

8. 委員会報告

○国際奉仕委員会

国際大会 3月15日(金)締切

○社会奉仕委員会

献血ありがとう

たんぼぼの会について

9. IDM報告

* 1組 田村 能孝君

1. 教育研修の改善

○仲良く、思いやりをもって皆と一緒に連れもていこう

○役員、リーダーになった時には勉強もするが、役が済んだら徐々に忘れる。

○会合では壇上にパストガバナーが大勢上がり個々挨拶されますが、直前のパストガバナーだけで良いのと違いますか？

○RCも年金をもらう様になったら、金を出して口を出さない様に

2. 各委員会活動とこれからの実施計画

増強

○ロータリークラブ会員と地域内の人口比率(かなり高い)ネタ切れ

○今の様な景気で、金銭的な負担を考えると勧誘しにくい

○5年間で4年増強委員会です
他の委員会でもやれますのでよろしく

○例会が禁煙なので入らないという人も出てくるかも

○会員を増やすより、減少を如何に止めるか？

* 2組 欠席

* 3組 岡田 雅晶君

欠席者は1名でしたが、平尾ガバナー補佐が手続要覧を持って参加されました。

最初に何でも話をしましょうと言うことで宮田さんから

①ロータリーの創立記念日はいつですか？

答えられる人は少なかったです。

ロータリーの創立記念日は2月23日です。

創立記念日に最も近い当クラブの2月25日(月)の例会が休会というのはどういう事なんだろうか？と腑に落ちないなという話になりました。

②理事会について

理事5名・役員6名で理事会を構成されていますが、何故、理事会と言うのかという話になりました。理事会とは名称だけの事でこのクラブの管理主体は理事会であるという事を再確認致しました。

③ロータリーの勉強について

例会に出席するのが本来の姿ですが、もっと小人数の集会、IDM等が非常に良い勉強の機会である。委員会活動をしっかりする。又、IDM等を再々開くということで、ロータリーについての勉強するのがやりやすい。

④会員身分の存続について

細則にもありますが、会費の不払、延滞、例会に4回欠席が続いたら自動的に会員身分が喪失する。

⑤例会に出席した時の着席の位置

* 4組 宮田 貞三君

4組は、2月15日に木村屋さんで開きました。

私は人前で話をするのが苦手です。特にIDMの報告は緊張します。というのも以前、発表の終わった後で、電話がかかってきました。「今日の発表はどうなっているのだ。せっかく我々皆がIDMでよい話をしたのに、言い忘れていないか」とお叱りを受けました。日頃、例会で居眠りをしているのに、こんな時に限ってよく聴いているのです。

今回のIDMでは、二重丸がついていないので喜んでいたので、それも束の間でした。前窪さんより、今回のテーマは教育です。IDMの発表はよい勉強になる。これからはIDMの発表は、若い人にしてもらおうようにしましょう。君に二重丸を譲りますと、前窪さんのやさしい思いやりで、私がこの場に立つことになりました。

4組の出席者の皆様は、事前によく勉強され、活発に意見を出して頂き、誠にありがとうございました。なお、本日の発表に不満な点があっても、当方に電話してこないようお願い致します。

○初めに、どうして今回は教育という難しいテーマに決まったかについて話し合いました。本年度のRI会長の4つの目標の一つに教育があります。先月、御坊で開かれたIMでのテーマも教育となっています。それ故、このテーマを選んだのではないか。それなら、御坊のIMが開かれる前に、IDMを開いておけば、なお一層よかったのではないかと。

○情報委員会と執行部の打ち合わせが大切です。

○又、IDMは、なるべく早い時期に開くのがよいのではないかと。できればガバナー訪問までに開く方がよい。

○委員会によっては、以前の計画書そのまま

使用する委員会もあります。

○委員会別にIDMを開いて、1年間の活動方針をじっくりIDMで話し合うのもよいのではないか。

○夫婦同伴のIDMでロータリーの話ばかりになっても、それはよいのではないか。会員がロータリーについて真剣に話し合い、勉強している姿を奥さんに見てもらってもよいのではとの意見も出ました。

○それなら、IDMを1回増やして、年4回にしてはどうか。

○例会の休日について、月曜日は振替休日やハッピーマンデーで休みになる日が多い。特別な日以外、クラブの休日を作らなくてもよいのではないか。又は、例会日を変更してはどうか。

○会員増強でも、質か量の問題がいつも出てきます。3:4:3の法則があり、熱心な人3割、普通の人4割、そうでない人3割だそうです。どんな会でもそうなる。我々はよき先輩に恵まれています。よき先輩を見習うことが勉強になり、当クラブに入会できただけで光栄に思っているという意見もありました。

○入会3年までの新しい人達だけの会を開いてはどうか。会長、委員長との話し合いの場を持ち、会長又は委員長が卓話をして新入会員が質問する、そういう会を作ってみてもよいのではないか。

○ロータリーの友を読むことも勉強になります。ロータリーの友をいつも枕元に置き、寝る前に読んで下さい。初めはおもしろくない退屈ですぐ眠くなります。辛抱して3ヶ月続けてもらおうと、だんだん読むのが楽しみになるそうです。本当かどうか、一度お試下さい。

○新世代委員会のローターアクトでは、諸い橋や海岸の清掃、アートフラワー、バルーンアート、第九を聴く会等、行なっています。皆様、参加お願いします。口井委員長は、ローターアクトのメンバーと親しくなるには、1年間では短すぎる。2年か3年続けたいとの希望です。

○社会奉仕委員会の予定は、3月29日(金)たんぼの会との交流で、花見の会を開きます。会員や奥さん方の参加お願い申し上げます。

○5月3日(金)は、“ほんまもん みかんの花咲く熊野古道を歩く会”を予定しています。海南駅出発、藤白神社→塔下王寺→加茂郷駅まで歩く計画です。

○最後に今の世の中お金を残すことを第一に考えている人が大変多いです。お金をたくさ

ん残そうと思うと、ペイオフや相続税とか色々心配事が絶えません。たとえ、苦勞してたくさんお金を残したとしても1年もすると人から忘れられてしまいます。それより、地域の文化を次の世代に残すことに力を入れてはどうか。藤白神社には約1000年前に造られた観音様が 있습니다。社会奉仕の事業として、地域の文化を次の世代に残す事業に取り組んではどうかとの意見もありました。

*5組 奥村 匡敏君

教育研修の改善

○現在、新入会員は入会の時のインフォメーションやIMの新入会員の集いで研修を受けています。クラブ執行部になる方は、地区協議会や各地区委員会で教育研修を受け、又会員は例会やIDM等、機会のあるごとに勉強していると思う。あまり堅い、難しい事を云うと入会する人も少なくなるし、会も面白くなくなり、退会者が増えるのと違うか？

○我々、クラブメンバーは例会に出席して、親睦を深め、ロータリー理念を理解した奉仕を各自が我が職業を通じ奉仕を行い、又社会への奉仕を行う事が目的であってクラブで行う奉仕は実施を経験する為であると思うので、RIの目標である会員増強や教育、又、公報はRIの仕事であって、自主、独立している。ロータリークラブとしては、協調はしなければならぬが、それを鵜のみにするのでなく各クラブの方針こそ大事な事である。

○海南東ロータリーの唯一の難点は委員会活動にある様に思います。委員長さん一人で事業をやるところが多く、あまり下の委員さんに連絡がなく、自分が何の委員会に属しているかも忘れていく人が多いのが現状だと思います。やはり、年度初めに事業計画の為の委員会を必ず開き、年度内には少なくとも2~3回は開いたら良い。今年の雑誌委員会は、全くうまくやっていると思います。又、各委員長は年配者ではなく、若い者を採用していったら良い勉強になると違うか。

第5組国際奉仕委員会としては、今年この地区委員の花田世界社会奉仕委員より、現在、世界社会奉仕は地区の事業に協力してるが全く全体がわからない事が多い。この世界社会奉仕事業は、クラブ単独でやるべきで、RIの同額補助を受けてやったら良い。単独でやる事により、メンバーの参加、行動が活発になり、国際奉仕が進むと云う意見がありました。

○又、予算金額が少なくともフィリピンでも最も有効に事業ができるし、フィリピンのロータリークラブは奉仕事業に熱心であり、協同して良い事業がやれる。良いと思ったら姉妹提携を直ぐやり、重荷になったと思ったら、すぐ止めたら良い。これが世界共通のやり方であるとの林GSE地区委員さんの御意見でありました。

○財団委員長の桑添さんは財団の寄付金について、使いがわかり難い、もっと解りやすい説明が欲しい。又、奨学生制度やGSEに応募する人が少なく、募集するのに苦労している現状であり、本当にやる価値があるのでしょうか？いろいろな規制や、あとの報告義務があり、それが応募者を少なくしているのと違うだろうか？その点は今度の花田GSE団長さんもインドでの事を報告されていました。……その様な事で委員長としてあまり寄付金でメンバーに無理なお願いが出来ない。

*** 6組 西川 富雄君**

親睦のメンバーを主体に組まれております。最初リーダーの中村雅行君からミーティングの内容の説明があり、即協議に入りました。目の前に特製弁当を眺めながらですので、何を言っているのか全く聞いておりませんでした。そこへ平尾ガバナー補佐が飛入り。遅れる事10分、今度は宇恵次期会長がお一人で現れ、その場は大いに盛り上がりました。結果的にそれが悪かったのか、盛り上がりすぎて肝心の議題にはどこへやら、最後にリーダーからお前発表しとけ。それでお開き。幸い親睦というテーマが入っておりましたので、結論、さらなる親睦の度合いを深め意義深いIDMでございました。

10. 次回例会ご案内

平成14年3月25日(月)PM12:30~

於 海南商工会議所4F

会員卓話 中尾 公彦君

11. 閉会 点鐘

▼▼▼▼ ニコニコ・米山・BOX ▼▼▼▼

山田 耕造君 頭が痛く、2週間入院
無事退院出来ました

岩本 吉平君 胃を手術して、1年目になります

奥村 匡敏君 平尾さん、ありがとうございます
ました

谷口 誠也君 献血にご協力ありがとうございます
いました

前窪 紀文君 孫、大学決まりました